

## Factors related to deterioration of renal function after singleton delivery in pregnant women with chronic kidney disease

|       |                                                                                                    |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2019-02-08<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 深澤, 祐子<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.20780/00032089">https://doi.org/10.20780/00032089</a>                  |

## 主論文の要約

Factors related to deterioration of renal function after singleton delivery in pregnant women with chronic kidney disease

(慢性腎臓病合併妊婦における分娩後腎機能増悪関連因子に関する臨床的検討)

東京女子医科大学産婦人科学教室

(指導：松井 英雄 教授)

深澤 祐子

Taiwanese Journal of Obstetrics & Gynecology

第 55 巻 166～170 頁 (平成 28 年発行) に掲載

### 【目 的】

慢性腎臓病 (Chronic kidney disease; CKD) は妊娠や分娩を契機に腎機能低下をきたす例が少なくない。今回我々は当院で管理した CKD 合併妊娠について、妊娠前 CKD 重症度分類別に臨床経過を検討し、妊娠・分娩による腎機能悪化に関与する因子を明確にすることを目的に後方視的に検討した。

### 【対象および方法】

2001 年からの 10 年間に当院で扱った CKD 合併妊娠 156 例を対象とした。透析例、胎児奇形例、多胎妊娠例は除外した。CKD 重症度分類は 2002 年の K/DOQI 分類を使用した。妊娠前と分娩後を比較し、CKD 重症度分類の stage が進行した症例を腎機能悪化 (Deterioration of renal function: DRF) 群と定義した。周産期管理に関し、妊娠前 CKD 重症度分類による方針変更は行わなかった。CKD stage 間比較には  $\chi^2$  検定, Mann-Whitney 順位和検定, Fisher 直接確率試験, Kruskal-Wallis 順位検定を用い、5%未満の危険率をもって有意差ありとした。DRF 群と対照群 117 例との比較には単変量・多変量解析を用いた。また DRF 発症を予測する妊娠前推算糸球体濾過量 (estimated glomerular filtration rate; eGFR) cut-off 値を求めるため Kaplan-Meier 法に

より Receiver operating characteristic (ROC) 曲線を作成した。

## 【結 果】

156 妊娠において最多の原疾患は IgA 腎症 54 例 (34.6%) であった。妊娠前 CKD 重症度分類の内訳は stage1 38 例 (24.6%), stage2 60 例 (38.5%), stage3 52 例 (33.3%), stage4 6 例 (3.8%) であった。DRF 群は 39 例 (25.0%) 存在し、この発症率は妊娠前 CKD 重症度分類別で有意差はなかった。DRF 群と対照群の 2 群間での多変量解析から、DRF 発症に関わる因子として糸球体腎炎の存在、妊娠前からの重症蛋白尿並びに抗血小板薬の不使用が抽出された。また、ROC 曲線から妊娠前 eGFR が 75ml/min 未満でない症例のうち 78.8% が DRF とならないことが判明した。

## 【考 察】

妊娠前から蛋白尿を呈する症例では、周産期管理上特に腎機能低下に注意する必要がある。妊娠前 eGFR が少なくとも 75 ml/min 以上の場合、CKD の原疾患に関わらず 78.8% が分娩後に腎機能悪化に至らないと推察された。今後は「eGFR=75 ml/min」が分娩後腎機能予後の予測値として有用か否かについて、前方視的な検証が必要と思われる。

## 【結 論】

本研究は CKD 合併妊娠において、腎機能悪化に関する eGFR についての cut-off 値を提示した初めての報告である。